



風は友だち

秋田市立御所野小学校
令和6年度校報 **第9号**
令和6年12月25日発行

学校教育目標

心豊かにともに学ぶ、たくましい子どもの育成

共感や軋轢の中で

校長 長門 里香

今年もあと1週間。年を取るほど、1年が早く過ぎ去るように感じます。10年分の1年、50年分の1年という、人生の中の割合の違いなのでしょう。人生100年時代を生きる子どもたちは、その多くが約90年後に100年分の1年を体感するかもしれません。明日から楽しい冬休み。普段の生活ではあまり関わる機会がない親戚や地域の方など、様々な「〇年分の1年」の人たちと関わってお話を聞いたり、遊んだりして欲しいと思います。

令和6年、コロナ禍の長く閉ざされた期間を経て感染症法上5類移行から1年半、学校では同じ年齢同士での学びはもちろん、ふれあいグループ活動（学年縦割りによるグループ活動）での学び、ゲストティーチャーを招いた学び、県外での学び、宿泊を伴う学び等々、様々な形で様々な人たちと接し、学びを深められる環境が整ってきました。「学校は、学年・学級という生活を共にする集団の中で、多様な他者に出会い、共感や軋轢の中で自己を知り、高めるとともに、他者とどのように共存するかという、社会を形成していく上で不可欠な人間同士のリアルな関係づくりを子供たち相互の関係で学ぶ貴重な場」であり、子どもたちは、他者の意見を受け止めたり自分の意見を発したりしながら、「他者とどのように共存するか」を、昨年以上に直接関わり合いながら学んできました。

「それいいね」「私もそう思う」「分かる分かる」などと感じることもあれば、「なぜ分かってくれないの」「そうは思わない」「ずるい」などと感じることも、どの子どもにもきつとあったはず。そして、もし後者のような状況が生じたとすれば、お子さんが葛藤し悩んでいる姿を目の当たりにするのは、保護者の方にとって、とても辛いことだったと思います。しかしながらここまで、保護者の皆様には、お子さんの強さや弱さを全て理解し包み込んで、可能性を信じながら、いつも学校と共に望ましい方向へと導き支えていただきました。本当に有難く、心より感謝しております。来たる年も子どもたちは、「人間同士のリアルな関係づくり」を共感や軋轢の中で学び、経験知を高めていくことでしょう。学校での学びと家庭での学びのベクトルを共有しながら、子どもたちのよりよい「育ち」のために、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

年明け1月14日（火）には、子どもたちが一年の計を携えて、明るく晴れ晴れとした姿で「おはようございます」と登校してくることを楽しみにしております。それでは、ご家族皆様お元気で、どうぞよいお年をお迎えください。



ふれあいグループ活動の様子

*「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会論点整理」より一部抜粋

お礼

今年度の「保護者アンケート」へのご協力、どうもありがとうございました。回答率は56.0%でした。結果を基に御所野小教育を語る会（学校運営協議会）で検討した後、校報第11号に掲載いたします（2月28日発行予定）。



4～6年生を対象とした、秋田県学習状況調査が行われました。国語科、算数科、理科と、5・6年生対象の社会科、そして学習についての質問があり、どの子どもも粘り強く取り組みました。結果は、冬休み明けの指導や次年度の教育計画などに生かしていきます。

ようこそフラの先生！ 11月18日(月)～21日(木)

5年生の体育科の授業で、2名のフラダンスの先生をお迎えし、フラに込められた意味なども含めて丁寧に教えていただきました。首にはレイを掛けてもらい、本格的に楽しく学んだ4日間、どうもありがとうございました。



学校保健委員会

12月11日(水)

学校薬剤師の先生から、本格的な冬を前に、健康に過ごすための留意点等を伺いました。特に感染症には、これから十分に気を付けたいものです。参加して下さった委員の皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。



ふれあいフェスティバル

12月12日(木)

学年縦割りによるふれあいグループ活動のクライマックスである、ふれあいフェスティバルを行いました。各グループでゲームのお店を出し、遊んだり店番をしたりしながらみんなで楽しみました。今年は、同時にクイズラリーも行い、内容盛りだくさんでしたが、6年生を中心に、準備から後片付けまで、自分たちの力で本当によくやり遂げました。

